

開講大学	香川大学
担当大学	高知大学
開講科目名	気象学入門
区分	学際科目A
担当教員	佐々浩司
学期・曜日・校時	前期・曜日時限の指定なし
対象学生	1年生以上
(担当教員が想定する学部・学科の限定等の詳細)	特に履修対象者を限定しない
開講大学での科目分類と対象学生	授業科目: 共通教育教養科目 対象学生: 1年生以上
授業形態	第1～15回全てeラーニング教材による非同期型授業
過年度の開講実績	無
講義概要	<p><b>【授業概要】</b> 気象に関わる様々な現象は大気の流れや状態変化に伴って発生する。地球上の大気の動きを演示実験などにより説明するとともに、雨雲のできる様子、気象災害の起こる原因や、天気図の見方などについて解説する。</p> <p><b>【授業の目的及び主旨】</b> 天気の移り変わりにおけるおおまかなメカニズムを理解するとともに気象学を学ぶ基礎的知識を身につける。さらに天気予報で示される天気図や様々なデータからどのようなことが把握できるのか理解する。</p> <p><b>【授業の到達目標】</b> 日本における天気の大まかな動きを理解し、天気予報やレーダーデータなどの気象情報を的確に把握できる。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気象の様々なすがた</li> <li>2. 天気と気候のとらえかた</li> <li>3. 気象の時間的空間的な大きさ</li> <li>4. 大気の大気温度分布と熱のやりとり</li> <li>5. 地球規模の流れ</li> <li>6. 低気圧と高気圧</li> <li>7. 熱帯低気圧: 台風</li> <li>8. 風の吹き方、局地的な風</li> <li>9. 天気図をみてみよう</li> <li>10. 雲のできかたと雨</li> <li>11. 雲の姿と大気の流れ</li> <li>12. 豪雨</li> <li>13. 突風</li> <li>14. 地球温暖化とは</li> <li>15. 気候変動と気象災害</li> </ol> <p><b>【成績評価の方法と基準】</b> 毎回の講義内容をまとめたレポート15回分 40点 5回分の内容の理解度を調べるレポート3回分 60点 合計100点で評価する。 ただし、毎回の講義内容をまとめたレポートの提出が10回未満のものについては、5回分の内容の理解度を調べるレポートの提出回数に関わりなく、最終的な成績評価を0～59点で行う。</p> <p><b>【受講の条件】</b> 気象に興味があること。</p> <p><b>【授業及び学習の方法】</b> 本事業はフルオンデマンドのe-Learning形態で実施するため、講義室での対面授業は行わない。詳細はe-Knowledgeコンソーシアム四国HP「開講科目」ページ内にある『単位互換についての履修案内はこちら』(URL: <a href="http://www-ek4.cc.kagawa-u.ac.jp/courses/">http://www-ek4.cc.kagawa-u.ac.jp/courses/</a>)に記載されているので、必ず熟読のこと。 また、科目履修希望の申し出・手続きとは別に、e-Learningシステム(LMS)の登録が必要なので、必ず期限内に登録を完了すること。もし期限内に登録が完了していない場合は、履修を許可しない。 また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。</p>
備考	eK4科目「流れと波の災害」は二重履修科目